

江南市廃棄物減量等推進協議会 平成 26 年度第 1 回会議会議録(概要)

- 日時 平成 26 年 5 月 26 日 (月) 午後 2 時～午後 3 時 20 分
- 場所 江南市消防署 3 階 講堂
- 出席委員(23 名)

会 長	岩 井 喜 美 子	副会長	前 田 幸 男
委 員	添 田 祐 一	委 員	松 田 利 宣
委 員	尾 関 順 久	委 員	青 山 和 子
委 員	岩 田 英 次	委 員	伊 神 鋭 康
委 員	竹 島 允 子	委 員	川 崎 晴 功
委 員	三 輪 專 治	委 員	村 瀬 雅 己
委 員	古 田 一 弘	委 員	古 田 一 二 三
委 員	望 月 晴 夫	委 員	尾 関 安 巳
委 員	長 岡 吉 男	委 員	荻 谷 有 朗
委 員	藤 田 泰 雄	委 員	堀 場 敏 之

委 員 寺 澤 佳 訓 (代理人が出席)

委 員 柳 田 恭 彦 (代理人が出席)

委 員 松 井 淳 司 (代理人が出席)

- 欠席委員(6 名)

委 員	大 里 賢 史	委 員	春 日 井 久 敏
委 員	青 山 滿 宏	委 員	楓 健 年
委 員	水 野 祐 助	委 員	阿 部 真 弓

- 事務局

生活産業部長 武 田 篤 司

環 境 課 長 石 川 晶 崇

環 境 課 主 幹 梅 本 孝 哉

環境課副主幹 相 京 政 樹

環境課主任 長 崎 紘 樹

●会議経過

■あいさつ等

○環境課長

本日は、大変お忙しい中、ご出席をいただき誠にありがとうございます。

皆様がおそろいでございますので、会議を始めさせていただきます。なお、本日の会議につきましては、お手元のレジメにそって、会議を進めてまいりますので、よろしく申し上げます。

会に先立ちまして、生活産業部長よりあいさつを申し上げます。

○生活産業部長

<部長あいさつ>

○環境課長

この協議会の委員の任期につきましては、2年となっておりますが、団体代表者等の任期満了などの理由で異動があった場合におきましては、残任期間を委員として委嘱させていただきます。

新たに委嘱させていただきました皆様を事務局より紹介させていただきます。

<新任委員の紹介>

委嘱状は、席上に配付させていただいておりますので、ご確認をお願いします。

次に、事務局も4月1日に異動がありましたので、自己紹介をさせていただきます。

<事務局自己紹介>

部長は、他の公務がございますので、ここで退席させていただきます。

それでは、これからの議事進行につきまして、本協議会設置要綱第7条の規定により、会長の岩井さんをお願いしたいと思います。

○会長

<会長あいさつ>

■議題①会議録の公表及び会議の傍聴に関する要領(案)について

○会長

議題①の会議録の公表及び会議の傍聴に関する要領(案)について、事務局より説明をお願いします。

○事務局

市の政策形成などの過程への市民の参加を推進するため、江南市市民参加条例が制定され、4月1日に施行されました。

この条例で、廃棄物減量等推進協議会などの審議会等の会議の公開と会議録の公表が義務付けられたため、今回の会議から、会議の公開と会議録の公表を実施いたしますが、その方法等について説明させていただきたいと思っております。

資料 4 ページをご覧くださいと思います。現在、市のホームページに掲載されている他の審議会等の概要で、会の名称、委員の氏名等が掲載されております。市民参加条例に関連して、市の審議会等の概要を市のホームページに掲載する方針が出されておりますので、廃棄物減量等推進協議会につきましても、所掌事務や委員氏名、会議録などをこのような形式で公開してまいりたいと考えております。

資料 5 ページをご覧くださいと思います。会議録の形式について、市民参加条例の担当課が作成した「会議録例」を掲載しております。会議録については、記載のような形式で、会議の名称、開催日時、開催場所、出席者等を記載し、その下に議題、発言の内容、議事の経過等を記載してまいりたいと思います。

発言者名をどのように記載するかという点について、個々の発言した委員名を記載するか、「会長」、「委員」というように記載し、委員の個人名を記載しないか、いずれかの方法が考えられますが、事務局といたしましては、委員の皆様の積極的な意見を妨げることがないように、個々の発言について委員の個人名を記載しないで、「会長」、「委員」、「事務局」程度と記載して

まいりたいと考えております。また、会議録を公表する前に、発言の内容が適切に表現されているかどうか、事前に委員の皆様へ郵送して、ご確認いただきたいと考えております。

次に、会議の録音について、説明させていただきます。会議録の作成に関連して、発言内容等を正確に記録する必要があるため、会議の録音をさせていただきたいと思っております。今回の会議の議題②「平成26年度事業計画案について」以後に録音させていただきたいと思っておりますので、ご了承いただきたいと思っております。

資料6ページをご覧ください。『会議の傍聴に関する要領』の事務局案を記載しております。会議傍聴のルールを審議会ごとに審議会の長が会議に諮って定めることが市の要綱で定められておりますので、今回の会議で委員の皆様で協議していただき、了承をいただきたいと考えております。

○会長

会議録の公表及び会議の傍聴に関する要領(案)について事務局より説明がありましたが、ご質問等がございましたら、ご発言をお願いします。

○会長

質問等もございませんので、事務局から提案のありました「江南市廃棄物減量等推進協議会の会議の傍聴に関する要領(案)」について、承認いただけるかどうかお諮りいたします。

<「異議なし」との発言あり>

ご承認いただきましたので、この要領に従って、傍聴に関する事務を行ってまいります。

■議題②平成26年度事業計画(案)について

○会長

議題②の平成26年度協議会事業計画(案)について事務局より説明をお願いします。

○事務局

資料7ページをご覧ください。平成26年度事業計画案について

て説明させていただきます。今年度は、会議を3回開催する予定です。第1回会議は本日開催ですが、第2回は9月下旬、第3回は来年2月下旬に開催予定です。また、環境フェスタ江南2014を10月25日、10月26日に実施予定です。また、11月下旬ごろにはごみ処理施設の視察を実施する予定です。特別委員会につきましては、必要に応じて開催する予定です。

○会長

平成26年度協議会事業計画（案）について事務局より説明がありましたが、ご質問等がございましたら、ご発言をお願いします。

○会長

それでは、この事業計画案について承認いただけるかどうかお諮りいたします。

<「異議なし」との発言あり>

ご承認いただきましたので、今年度はこの計画に沿って事業を行ってまいります。ご協力の程よろしくをお願いします。

■議題③平成26年度予算概要について

○会長

議題③平成26年度予算概要について事務局より説明をお願いします。

○事務局

配布させていただきました資料の8ページと9ページの「平成26年度予算書抜粋」に基づいて説明申し上げます。

「ごみ減量対策・ごみ減量作戦57運動事業」と「廃棄物減量等推進関連事業」の2つの事業に分かれておりますが、それぞれ合計額は「ごみ減量対策・ごみ減量作戦57運動事業」が20,777,000円、「廃棄物減量等推進関連事業」が618,000円となっています。

「ごみ減量対策・ごみ減量作戦57運動事業」は、5つの事業に分かれておりまして、「ごみ減量対策・ごみ減量作戦57運動事業」が565,000円、「環境フェスタ江南開催事業」が1,560,000円、「ボランティア分別指導員養成講座開設事業」が65,000円、「生ごみ処理機器設置費補助事業」が3,188,000円、「資源ごみ回収関係助成事業」が15,399,000円となっております。

次に、「廃棄物減量等推進関連事業」ですが、「廃棄物減量等推進協議会開催事業」と「廃棄物減量等推進員委嘱事業」の2つの事業に分かれております。「廃棄物減量等推進協議会開催事業」が、616,000円、「廃棄物減量等推進員委嘱事業」が2,000円となっております。

○会長

平成26年度予算概要について事務局より説明がありましたが、ご質問等がございましたら、ご発言をお願いします。

○会長

質問等がございませんので、次の議題に移らせていただきます。

■議題④特別委員会委員選出について

<下記の委員を選任>

委員長 楓 健 年

委員 岩井喜美子

委員 伊神鋭康

委員 古田一二三

委員 長岡吉男

委員 堀場敏之

委員 前田幸男

委員 竹島允子

委員 望月晴夫

委員 藤田泰雄

■議題⑤環境フェスタ江南実行委員選出について

○会長

議題⑤の環境フェスタ江南実行委員の選出について、事務局より説明をお願いします。

○事務局

環境フェスタは毎年、10月の最終の土曜日、日曜日に開催するイベントで、今年度は、10月25日及び26日にすいとぴあ江南で開催する予定です。環境フェスタ江南の開催は、今年度で10回目となり、1回目は市民文化会館で、2回目以降はすいとぴあ江南で開催してまいりました。

市民との協働によるイベントとして、市民、事業者及び市で構成する実行委員会を組織して運営を実施しています。

資料 30 ページに「環境フェスタ江南実行委員会規約」を掲載しておりますが、第 3 条に実行委員会の構成として、江南市廃棄物減量等推進協議会委員、その他関係団体、市職員で組織するとされており、毎年、廃棄物減量等推進協議会委員全員に環境フェスタ実行委員として参加いただき、ご協力をお願いしております。今年度も全ての協議会委員の方に環境フェスタ実行委員として、参加をいただきたいと考えております。

○会長

ただいま、事務局から説明がありましたが、選出方法をどのようにするかお諮りします。

<「会長一任」との発言あり>

ただいま、「会長一任」とのご発言がありましたが、いかがでしょうか。

<「異議なし」との発言あり>

異議なしとのことですので、この協議会の委員全員の方に環境フェスタ江南実行委員会の委員に就任していただき、環境フェスタ当日に全面的に協力していただきますのでよろしくお願いたします。

しかしながら、実行委員会を進める上で、細部の企画・運営等の調整を図る必要があるため、実行委員会の役員として数名を私から指名させていただきます。

<下記の役員を選任>

前 田 幸 男	岩 井 喜 美 子
伊 神 鋭 康	川 崎 晴 功
村 瀬 雅 己	古 田 一 二 三
柳 田 恭 彦	長 岡 吉 男
阿 部 真 弓	堀 場 敏 之

■議題⑥その他

○会長

続きまして、議題⑥のその他について事務局より説明をお願いします。

○事務局

資料 12 ページをご覧ください。平成 25 年度ごみ減量「57 運動」実施事業について報告させていただきます。

まず、説明会等開催事業として、「地区説明会」と「児童生徒への環境教育」の 2 つの事業を実施しました。地区説明会を 5 回、それから、児童生徒への環境教育として、中学校の訪問学習への対応を 1 回と親子ごみ教室を 8 月に 2 日間実施しました。

次に、施設見学会開催事業ですが、各地区、団体、学校等を対象に合計 24 回実施し、参加者は合計 1,282 名でした。区長・町総代対象の施設見学を 2 回、地区住民対象の施設見学を 5 回、各種団体の施設見学を 7 回、小学 4 年生対象の施設見学を 10 回実施しました。

次に、啓発事業ですが、啓発物資の配布、広報による啓発、文書による啓発、放送による啓発等を実施しました。主な内容として、市内のスーパーマーケット 4 店舗での啓発物資の配布、環境美化センターへのごみ搬入量の広報掲載、使用済み小型家電回収等に関する地区への文書回覧等を実施しました。

次に、生ごみ処理機器及びボカシの普及事業ですが、生ごみ処理機器の購入に対し、補助金を交付しました。内訳は、密封発酵容器が 37 基、コンポストが 33 基、電動生ごみ処理機が 48 基でした。

次に、事業系ごみ対策事業として、商工会議所ニュース 2 月号への啓発チラシの折り込みと一般廃棄物の再利用及び減量計画書の提出要請を実施しました。

次に 14 ページをご覧ください。市民参画事業として、ボランティア分別指導員養成講座の開催、江南おもちゃ病院スマイル及び江南生活環境を良くする会との協力、環境フェスタ江南 2013 開催を実施しました。ボランティア分別指導員養成講座は 2 回実施し、合計 42 名の参加がありました。

続きまして、15 ページをご覧ください。

平成 25 年度江南丹羽環境管理組合ごみ搬入量について説明させていただきます。

15 ページから 18 ページにかけて、江南市、大口町、扶桑町の平成 25 年度のごみ搬入量の詳細なデータが記載されています。

19 ページをご覧ください。江南市の過去 5 年間の家庭系可燃ごみ収集量について、各月ごとの量を比較した表とグラフを掲載しております。こちらの表については、後程各自でご確認いただきたいと思います。

次に、家庭系可燃ごみについて簡単にまとめたものを 20 ページに掲載しておりますので簡単に説明させていただきたいと思います。20 ページをご覧ください。20 ページの表には、江南市、大口町、扶桑町の住民 1 人 1 日当たりの家庭系可燃ごみ排出量が掲載されております。平成 25 年度の江南市の市民 1 人 1 日当たりの家庭系可燃ごみ排出量は 397g でした。平成 24 年 6 月に剪定枝・草の分別収集を開始してから、可燃ごみの量が減少しております。江南市、大口町、扶桑町の 1 市 2 町では、大口町が最も住民 1 人 1 日当たりの家庭系可燃ごみの排出量が少なくなっています。

続きまして、21 ページをご覧ください。江南市レジ袋削減推進委員会の平成 25 年度収入支出報告について説明させていただきます。まず、収入の部ですが、前年度繰越金が 270,658 円、レジ袋有料化収益寄付金として株式会社平和堂様から 176,000 円、株式会社ヤマナカ様から 32,044 円、利息として 61 円で合計 478,763 円でした。次に支出の部ですが、環境フェスタ江南への寄付金として 107,415 円でした。

収入支出の差引残額は 371,348 円となりました。

次に、平成 25 年度に受領した寄付品の紹介をさせていただきます。ユニー株式会社様から種子、プランター、培地 171 セット、堆肥 200 セットの寄付をいただきました。

次に、本日の会議終了後に実施するごみ減量啓発キャンペーンについて説明させていただきます。

この後、午後 4 時から 4 時 45 分の時間帯で市内の 4 つのスーパーマーケットに別れていただいて、啓発用物品のポケットティッシュを配布していただきたいと思います。

場所につきましては、表のとおり振り分けさせていただきましたので各自で移動していただき、それぞれのスーパーマーケットのサービスカウンターで集合ということにいたします。よろしくお願いいたします。

○会長

以上の報告について、ご意見等ございますか。江南丹羽環境管理組合へのごみ搬入量について事務局から報告がありましたが、追加の報告などがございましたらおっしゃっていただきたいと思います。

○委員

江南市、扶桑町、大口町の1市2町のごみのうち、約60%が江南市のごみとなっています。平成25年度1年間の各市町のごみ搬入量を見ますと、江南市が約27トン削減、大口町が約21トン削減、扶桑町が約27トン増加という結果です。扶桑町のごみ搬入量の増加は、人口が増加していることが影響していると考えられます。

毎年、施設の維持管理に3億円程度の費用がかかっておりますが、市民の皆さんのご協力のおかげでごみが増えることなく、維持できていると思っています。

○会長

その他、意見がございましたらおっしゃっていただきたいと思います。

○委員

家庭から出るごみをできるだけ減らすよう努力しています。レジ袋の受け取りを断ったり、書店で本を購入する際にカバーを着けるのを断ったりしています。

学校や自宅の近辺で草が茂った場所などには、すぐにごみが捨てられ、拾わないとあっという間に増えてしまいます。子どもたちには、ごみを出さないことが大事であることや分別や再利用などについて教えています。できることから取り組んでいくことが重要だと思います。

○会長

ありがとうございました。一つひとつの善意の取り組みがごみ減量に必要なことだと思います。ごみが捨てられるような状況については、近年は当たり前のことが守られないことが増えてきていると思います。

その他、意見がございませんでしょうか。

○委員

19 ページの表について、家庭からの可燃ごみ収集量の「前年比」が記載されていますが、定点を設定して、例えば平成 22 年度を 100 とした場合の各年度のごみの比率を記載して、ごみをどの程度削減したか分かりやすく示すべきだと思います。それから、江南市では「57 運動」という運動を実施していますが、1 年で何トンごみを減らすべきか、目標値を作り、目標をどの程度達成したか分かるようにするべきだと思います。市民が 1 年間でごみを減らしたか、又はごみを増やしてしまったかということが分かるような情報の共有化を図ることが必要だと思います。数値を「見える化」して、広報に掲載することも必要だと思います。

「57 運動」が 1 年間で 1 人当たり 57g の減量なのか、1 日で 1 人当たり 57g の減量なのかということも市民には知られていません。1 年間で 1 人当たり 57g としても、江南市民 10 万人ですと、約 6,000kg の減量となります。1 日 57g だと 365 日と 10 万人を掛けると約 2,000 トンになります。適切なごみ減量の目標値を検証しなければならないと思います。

○会長

ありがとうございました。とても貴重なご意見を伺いました。この件については次回の会議でどのようにするか話し合ってもよいと思います。

○環境課長

大変貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。

19 ページの表につきましては、前年度に対して、ごみ減量にどの程度ご協力いただいたかを示すために、前年度比を掲載しております。

「57 運動」につきましては、市民の皆さんの努力の積み重ねで、家庭系可燃ごみの市民 1 人 1 日当たりの量が 400g 弱で収まっているため、市民の皆さんのご協力に感謝しております。

○委員

先ほど問題提起させていただいたのですが、やはり前年比だけでは理解しにくいと思います。1 人当たり 57g についても適正な数値かどうか検討する必要があると思います。

○会長

ありがとうございました。貴重なご意見を伺いました。この件につきましては、特別委員会で検討することも考えてもよいと思います。

○委員

57gの数字にはあまりこだわらなくてもよいと思います。楽な気持ちでできるところから取り組むことが必要だと思います。今回、一部の資料を再利用の封筒に入れて配布されていますが、これもごみ減量だと思います。身の回りのことで、気づいたことを一つひとつ楽しく気を配ってごみ減量に取り組んでいきたいと思います。

○会長

その他、意見はございませんでしょうか。

○委員

私が所属する団体のメンバーは、生ごみをできる限り、畑に埋めて処理しています。また、新聞と一緒に届く広告を利用して封筒や菓子器を作って、ごみ減量に取り組んでいます。子どもを対象に講習を行うこともできます。お金さえ出せば、何でも買える時代ですが、このようなことも必要だと思います。学校関係で児童向けの講習が必要な場合は、喜んで伺いたいと思いますので、よろしくをお願いします。

○会長

大変貴重なご意見を頂きありがとうございました。次回の会議の際も皆様には、ご意見をお持ち寄りいただき、提案を頂きたいと思います。

本日は長時間にわたり審議いただきありがとうございました。